

製品名: エロンギン A2/3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10420**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	TCEB3B/TCEB3C
別名	TCEB3B; TCEB3L; RNA polymerase II transcription factor SIII subunit A2; Elongin-A2; EloA2; Transcription elongation factor B polypeptide 3B; TCEB3C; TCEB3L2; RNA polymerase II transcription factor SIII subunit A3; Elongin-A3; EloA3; Transcr
遺伝子 ID	51224/162699
SwissProt ID	Q8IYF1/Q8NG57
免疫原	抗血清はヒト ELOA2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 101-150

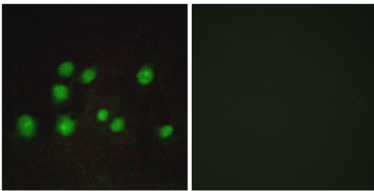
背景

この遺伝子は、SIII（またはエロンジン）転写伸長因子複合体の転写活性サブユニットをコードしており、この複合体には2つの調節サブユニットであるエロンジン B および C も含まれています。この複合体は、DNA 鋳型上の多くの部位で RNA ポリメラーゼ II の一時的な停止を抑制することで、RNA ポリメラーゼ II による RNA 鎖伸長速度を上昇させます。同様の機能を持つ関連タンパク質であるエロンジン A は普遍的に発現していますが、コードされているタンパク質は精巣で特異的に発現しており、精子形成に関与している可能性が示唆されています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月], ドメイン: エロンジン BC 複合体結合ドメインは、コンセンサス配列 [APST]-L-x(3)-C-x(3)-[AILV] を有する BC ボックスとしても知られています。 , 機能: SIII はエロンジンとしても知られ、RNA ポリメラーゼ II の転写伸長をテンプレートにコードされた停止部位を越えて促進する一般的な転写伸長因子です。サブユニット A2 は転写活性を有しますが、その転写活性は SIII 調節サブユニット B と C の二量体複合体（エロンジン BC 複合体） への結合によって増強されません。 , 類似性: 1 つの TFIIIS N 末端ドメインを含みます。 , サブユニット: A (A1、A2、または A3) 、 B、 および C サブユニットのヘテロ三量体。 , 組織特異性: 精巣で特異的に発現します。 ,

研究分野

-

画像データ



ELOA2 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。